



もり けん じ 氏
森 謙 治 氏
(1935~2019)

先生は、10歳の時、父親の故郷の有漢に疎開し、有漢中学校を卒業されるまで有漢で過ごし、田植え、田の草取り、稲刈りを毎年経験され、農業への関心が芽生えました。

「私の原点は、有漢の豊かな自然に触れたことです。」と、生前、森先生がおっしゃっていました。先生は、種無しブドウを作り出すジベレリンという薬剤を開発した人としても知られています。高梁市の名産ピオーネにもこの薬剤が使用されており、ブドウ農家の皆さんにとっては、深い結びつきがあるといっても良いのではないのでしょうか。

ジベレリンの研究の原点にも、有漢で過ごした少年時代の経験が活かされています。ジベレリンは稲の病気「イネばか苗病」を引き起こすイネばか苗病菌から生み出されるホルモンであり、米作りを経験していた先生にとっては、研究を身近に感じられたと思います。

東京大学農学部へ進学し、有機合成化学の研究で博士号を取得され、母校の東京

大学の教授として学生を指導されると同時に、研究者として250以上の研究論文を発表されています。

2010年には瑞宝中綬章を受賞され、2015年には、日本学士院の会員に選出され、天皇陛下（現上皇）へ研究の進講をされました。教授時代に学生に贈られた色紙の言葉は、「思考、努力、忍耐」でした。先生の人格がこの言葉に表されています。



人物写真提供：日本学士院

今号の表紙

高梁市立有漢学園
9年生の生徒

有漢学園は、有漢東小学校と有漢中学校が統合して今年4月に開校しました。義務教育学校の特色を生かして9年間を見通した教育活動を進めています。その中でも、「地域ぐるさと学習」「英語学習」「徹底反復学習」を3本柱として取り組んでいます。2学期には、後期課程の生徒が、地域の方に支えていただいで進めている「地域ぐるさと学習」のまとめを発表する予定で、現在、それぞれの学年がテーマに沿って学習しています。



6月定例会は、高梁国際ホテルの現状と今後の方向性、ラ・フォーレ吹屋の営業再開に向けた今後の方針、また廃校活用など、公有財産の活用等に関する課題について、多くの議員から質問されました。

議会基本条例では、「議会は、市民を代表する議決機関であることを常に自覚し、公正性及び透明性を重視して、市長等執行機関の市政運営状況を監視する。」とされています。

これらの課題に対して、議会と執行部がしっかりと情報共有を行い、熟議の市議会を目指し、議論を行ってまいります。

(前野洋行)

9月の定例会スケジュール

9/1	月	本会議（議案の上程）
5	金	本会議（一般質問）
8	月	本会議（一般質問）
9	火	本会議（一般質問）
11	木	本会議（議案質疑）
12	金	委員会
16	火	委員会
17	水	（委員会予備日）
22	月	本会議（採決）

※9月定例会への請願・陳情の締め切りは8月26日(火)までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報公聴特別委員会
長田	川上	前野	藤岡	宮田	川上	金尾	森和	
伸彦	雅美	洋行	善行	好夫	博司	恭士	之	



高梁市議会ホームページ
アクセスはこちらから

高梁市議会だより

第63号
2025年8月

高梁市議会だより

2025
8

「意見はこちらまで」■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

発行 高梁市議会



6月定例会

どうするラ・フォーレ吹屋
どうなる高梁国際ホテル



総務産業委員会

消防ポンプ自動車購入にあたっては
情報開示の改善を求める

総務産業委員会に付託された案件は、議案４件及び陳情１件の計５件です。

議案第67号「財産の取得に關し議会の議決を求めることについて」は、災害対応特殊消防ポンプ自動車を取得するものです。

委員からは審査において具体的な使用方法、ポンプ付属装置の機能、細い道路での走行性、路肩への影響、運転免許の保有状況、メンテナンスの在り方などが質問されました。

中でも、入札においては登録事業者と落札業者について、落札率、入札結果の公表の在り方などについては複数の議員から質問があり、委員会として落札率の高さと入札結果の公表には改善を求めると指摘がありました。議案第67号については、全

員一致で原案のとおり可決しました。

た。

次に陳情第2号「高梁国際ホテル運営協議会設置に関する陳

情書」では陳情者から意見陳述

テル運営協議会設置そのものが

陳情の真意ではなく、市とホテ

ル絳宮阿との言合いの域をいつか
りと設けていただきたいという旨

であつたことを踏まえて、委員が

る経緯を知る議員も少なく、5

月23日の議会全員協議会で高梁

国際ホテルに関して様々な質問が
出されたところであり、6月8

日の議会全員協議会で議会とし

て任意の協議会を設置し高梁国

ていくことが確認されています。

問題点、相違点も含めて経緯



新設された 財産活用課に質問集中

まな情継て
しな1続ま

市民文教委員会

入院・入所の方々に
負担が増加しないよう最大限の努力を

令和7年第2回高梁市議会定例会では、市長提出の議案等13件のうち6件について報告を受け、1件を承認とし、残り6件を原案のとおり可決しました。

また、各団体から議会に寄せられた請願4件（1件は前回からの継続審査）のうち、継続審査となっていた請願1件を採択とし、残り3件を不採択としました。また、陳情1件については、継続審査となりました。

なお、請願第1号の採択に伴い議員発議の議案1件が提出され原案のとおり可決しました。

市民文教委員会に付託された案件は、議案４件及び請願３件の計７件です。

議案第64号「高梁市病院・診療所等使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」については、物価高騰が続く中、今後も食料費のさらなる価格上昇の可能性が懸念されるため、物価高騰臨時交付金等の活用を通じて、入院・入所の方々への負担が増加しないよう、市に最大限の努力を求めるべきとの意見がありました。請願第2号「少人数学級の拡充及び教職員定数改善、『カリキュラムオーバーロード』の改善をはかるための、2026年度政府予算等に係る意見書採択を求める請願」、請願第3号「物価

上昇に見合う老齡基礎年金等の引き上げを求める請願」、請願第4号「現在の『健康保険証』の存続を求める請願」については採決の結果、賛成少数で不採択と決しました。

次に前回の定例会で継続審査としていた請願第1号「訪問介護の基本報酬を引上げるよう国に意見書の提出を求める請願」については、住み慣れた地域で安心して介護サービスを受け続けるためには訪問介護の安定的な提供が不可欠であり、そのためには在宅介護の基盤を維持するために訪問介護の基本報酬の引き上げを国に強く求めるべきとの意見があり、採択すべきものと決しました。

財産活用課について

財源確保や地域振興の観点から公共施設の跡地など未利用財産の積極的利活用を図っていくため、令和 7 年度から新設された課。

解説 公有財産とは？

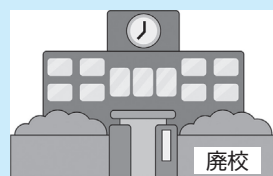
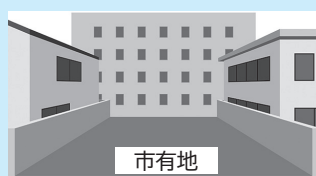
行政財産

公用又は公共用に利用している財産。
(例) 庁舎、学校、公民館、図書館など



普通財産

行政目的に使われていない市有財産で、民間に貸しているものや、公共事業予定地、使われず遊休化している財産。（例）市有地、廃校など



全員協議会で 議論が白熱

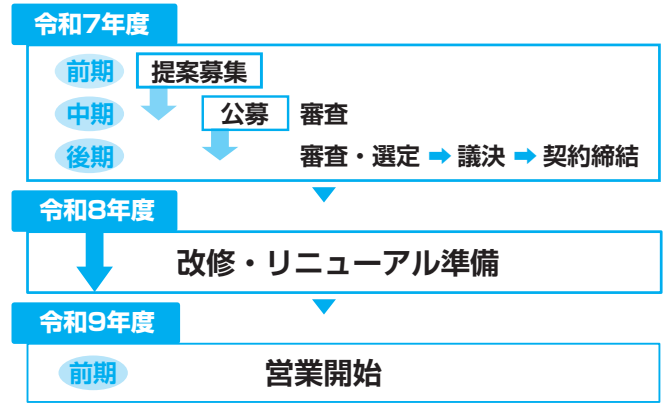
5月23日に議会全員協議会が開催され、執行部から「ラ・フォーレ吹屋の現状と今後について」、「高梁国際ホテル建物等賃貸借契約などについて」の説明がありました。

ラ・フォーレ吹屋の 現状と今後について

新指定管理者の撤退により、令和6年6月から休館しているラ・フォーレ吹屋の現状と事業再開に向けた今後の方向性について報告がありました。昨年度実施したアンケートやコンサルタントによる調査・分析により、3つの施設コンセプトを基にし、今後民間事業者から提案を求めるという内容でした。

- ① 富裕層をターゲットとしたラグジュアリーホテル
- ② アジア層のインバウンドや国内旅行者をターゲットとした宿泊型ホテル
- ③ 大学生や社会人の合宿をターゲットとした地域に根差したホテル

ラ・フォーレ吹屋 最短での再開スケジュール(案)



議員からは、ホテルのコンセプトありきでなく、吹屋の町並みとの調和や地域住民との関わりなど周辺の環境整備が必要といった意見があり、執行部からは、3つのコンセプトを軸とした柔軟な提案を民間から求める中で、持続可能で経済的にも成り立ち、市



ラ・フォーレ吹屋の経緯・経過

- | | |
|---------|---|
| 平成5年6月 | 旧成羽町が廃校となった吹屋中学校の跡地に第三セクターの農林漁業体験実習館として整備 |
| 平成11年末 | 管理運営方式を民間への業務委託に変更 |
| 平成16年9月 | 管理方式を指定管理に変更 |
| 令和4年10月 | 期間満了に伴い新しい指定管理者を選定 |
| 令和5年1月 | 指定管理者が撤退。営業休止 |
| 令和5年7月 | 新指定管理者が営業を再開 |
| 令和6年6月 | 新指定管理者の事業譲渡により営業休止 |

高梁国際ホテル建物等 賃貸借契約などについて

高梁国際ホテルは、平成9年8月に開業しましたが、開業3年目を迎えた平成12年に経営危機に陥り、市から高梁商工会議所に協力を求め、会議所有志により、平成13年に(株)高梁国際ホテルの経営陣が交代し、平成14年に新経営陣によりホテル再建を図りました。令和4年2月に20年間の建物等賃貸借契約の期間満了を迎え、その後、8月まで6

か月間の契約期間の延長に合意。さらに、令和7年8月まで3年間の契約期間の再延長に合意し、この度、執行部から契約期間の再々延長の提案がなされました。

この再々延長に当たって執行部からは、高梁国際ホテルは、まちづくりや市民、観光客及びビジネス客にとって有用な都市機能であるとの認識の下、これまでの契約内容や議決を得た事項、議会での答弁等に基づき、(株)高梁国際ホテルと誠意をもって協議を進めるとともに、今後の修繕や運営等のあらゆる面において、開業当時と比べ厳しい市の財政状況や社会情勢の変化を踏まえ、公金投入について慎重に検討すること、また双方、認識の相違が生じているとの報告がありました。



高梁国際ホテルの経緯・経過

- | | |
|----------|--|
| 昭和60年 | 高梁駅周辺開発懇談会を設置し誘致活動に取り組む |
| 平成7年2月 | (株)輝ノ家がホテル進出の意向を示す |
| 平成9年8月 | 高梁国際ホテル開業（建設費約13億円） |
| 平成12年 | 返済能力が著しく低下し、経営危機に陥る |
| 平成13年3月 | 市から高梁商工会議所に対し、ホテル再建の協力を求める |
| 平成13年8月 | 高梁商工会議所有志などにより株式を買収 |
| 平成13年9月 | (株)高梁国際ホテルの経営陣交代 |
| 〃 | 損失補償（1億5千万円を限度）に係る債務負担行為補正について議会の議決を得る |
| 平成13年12月 | 市が約12億5千万円をもって建物を買い取る |
| 平成14年2月 | 市と(株)高梁国際ホテルの間で建物賃貸借契約を締結（20年間） |
| 令和4年2月 | 20年間の建物賃貸借契約の期間満了を迎え、同年8月までの延長を合意 |
| 令和4年8月 | 建物賃貸借契約の令和7年8月までの再延長を合意 |



議会 ニュース



総務産業委員会 管外行政視察

5月14日・15日、宮崎県えびの市と熊本県菊池市を視察しました。えびの市では、閉校となった小学校を最低限の改修で再活用し、農業体験と宿



宮崎県えびの市 廃校活用施設「アグリテル」

泊ができる施設にしています。地元農家との連携で農業体験や地産食材の提供を行い、スポーツ合宿や企業研修にも対応しています。民間ならではの柔軟な発想とコストを抑えた運営が特徴でした。一方、菊池市は、約2億円の整備費をかけて廃校をリニューアル。地元住民がN



熊本県菊池市 きくちふるさと水源交流館

POを組織し指定管理で運営しています。施設は充実していますが、条例で利用料金が安価に設定されており、収益面での課題もあるとのことでした。両事例から学んだのは、廃校の利活用には、地域の理解と協力が不可欠であること。また、地域資源を活かす工夫が重要であると再認識しました。

市民文教委員会 管外行政視察

熊本県八代市へ5月8日・9日と管外行政視察を実施しました。過疎化と少子化が急激に進行している地域で、投票所までのアクセスが厳しい地区の方々を対象に、選挙人等の投票環境を確保する目的で「移動期日前投票所」が開設されていました。

翌日は医療Maasについて調査をしました。この地域で

ことや、協議会設立の議論は、結論を先送りするもので、不採択とすべきである。

宮田 好夫 議員

議案については全て賛成の立場だが、請願第2号、第3号及び第4号については委員長報告は不採択であるのに対し、採択を求める立場から討論に参加する。

請願第2号は少人数学級の拡充、教職員定数やカリキュラムオーバーロードの改善を求める請願で、多様な児童や生徒が増える中、きめ細かい学びのため少人数学級は必須である。また学習内容が質・量ともに過剰・過密となり、児童生徒や教員に過度な物理的・精神的な負担もかかっており、この請願は採択すべきである。

請願第3号の年金の引き上げや請願第4号の健康保険証の継続も趣旨に賛同できるので採択すべきである。

討 論

金尾 恭士 議員

全ての議案に賛成だが、請願第2号について委員長報告は不採択であるが、採択を求める立場で討論に参加する。少人数学級の拡充及び教職員定数改善、「カリキュラムオーバーロード」の改善については、全国知事会、全国市長会、全国町村長会が提言していることを踏まえ、採択を希望する。石田市長をはじめ執行部は市民の声を、市政に反映していただきたい。

また、議案第64号はひだまり苑の食事に関する条例改正だが、物価高騰等の状況により食費の値上げは仕方ないが、食事の質は担保することを申し添える。

平松 久幸 議員

すべての議案、請願、陳情に対し、委員長報告を了とし、賛成の立場であるが、議案第67号の災害対応特殊消防ポン

藤岡 善行 議員

プ自動車取得に関する落札率が99・3%と高落札率であることは疑問であり、予定価格の事前公表等、対策を求めることを申し添える。また、陳情第2号について、高梁国際ホテル運営協議会設置に賛成するが、高梁市より多額の公金が入っているため、契約延長について、経営計画書に基づく経営改善が必要であることを申し添える。

議案7件のうち、議案第62号と、議案第64号の2件についてはいずれも市民負担を考慮し、反対の立場から討論を行う。その他の議案については委員長報告を了とする。また、請願第1号については委員長報告を了とし、請願第2号、第3号及び第4号は、採択すべきである。陳情第2号については、委員長報告では継続審査であるが、本市財政が非常に厳しい中、決断を急ぐべきと考える。ホテルの今後を継続審査とする

6月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対

議案番号	件 名	榎	前野	川上雅	藤岡	小黒	長田	松岡	平松	金尾	森	宮田好	小林	倉野	川上博	宮田公
議案第62号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	高梁市病院・診療所等使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	少人数学級の拡充及び教職員定数改善、「カリキュラムオーバーロード」の改善をはかるための、2026年度政府予算等に係る意見書採択を求める請願	●	●	●	○	●	●	○	●	○	●	○	●	●	●	●
請願第3号	物価上昇に見合う老齢基礎年金等の引き上げを求める請願	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●
請願第4号	現在の「健康保険証」の存続を求める請願	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	○	●	●	●	●
陳情第2号	高梁国際ホテル運営協議会設置に関する陳情書 ※「継続審査」に対する採決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致となりました。



※医療Maas

通院しづらい人のために、交通と医療を組み合わせた移動支援サービス。



熊本県八代市での研修

は、令和4年12月から「デジタル医療Maas推進事業」の実証実験を行いました。事業の運営は、市が医療Maas運営会社と契約し、運営会社が市の医師会に委託。医師会が医療機関に委託とのことです。

企画財政部長 施設の統廃合によって普通財産は増加しているが、財源は限られ、職員数は減少しており、管理が追い付いていない一面もある。財産活用課を中心とし、他部署と連携しながら、効率かつ適正に管理したい。

市長 熱中症対策は健康に直結する重要なことだと認識している。現在計画的に進めているLED化、特別教室への空調整備を優先し、体育館の使用状況、避難場所としての機能を踏まえ、財源の状況を見ながら考え方を整理していきたい。

川上 市営の特別養護老人ホーム鶴寿荘について、民間法人に事業譲渡すべきではないか。

健康福祉部長 鶴寿荘は、定員50人に対して現在30人が入所。



特別養護老人ホーム鶴寿荘

このままの状況が続くと、今後、運営の継続が厳しいと認識している。今年度、高梁市西部地区における市立医療・介護施設経営コンサルティング業務を専門の第三者に委託して分析する予定である。その分析結果を参考に施設の在り方を検討していきたい。



▲動画視聴はこちらから

川上博司 議員

高齢者、障害者の方々に
対する熱中症対策は？

熱中症対策について

川上 高齢者、障害者の方々に対する熱中症対策はどのように行っているのか。

健康福祉部長 見守りを行っている愛育委員や民生委員に対して、介助者や周囲の方が気を付けたい予防法や介助方法などを普及し、熱中症の重篤のサインがあった場合は迷わず救急車を呼ぶように啓発している。

廃校の管理をしつかりするべき

普通財産の管理と活用について

榎 普通財産の管理について、どのように認識しているのか。

企画財政部長 原則として、草刈り、清掃などの必要最小限の維持保全管理と考えている。

榎 廃校活用を募集している旧高山小学校は、校舎は雨漏り、体育館は天井が落ち、床は抜けている。旧小学校は市民共有のものであり、市民が納得するよう適正に管理しなければならぬのではないか。

榎 人員体制や予算体制に関係なく、しつかり管理するのが財産管理である。今後しつかり確認していく。

学校体育館及び体育施設について

榎 子どもの熱中症対策や避難所になることを考え、国の交付金を利用し、小中学校の体育館にエアコンを整備する必要があるのではないかと。



▲動画視聴はこちらから

榎 隆宏 議員

を聞きました！

6/12 (木)

榎 隆宏

「普通財産の管理と活用について」
「学校体育館及び体育施設について」



川上博司

「熱中症対策について」
「直営の特別養護老人ホームについて」
「税の申告相談について」



小林重樹

「高梁国際ホテルについて」
「高梁市総合計画について」



金尾恭士

「福祉施策について」
「観光施策について」
「総合計画の見直しについて」
「道路の維持管理について」
「防災について」
「消防について」
「教育施策について」
「農業施策について」

6/13 (金)

森 和之

「学童保育について」
「公有財産の活用について」
「にぎわいの創出について」
「市街地の町並みの保存について」
「中山副市長について」



長田伸彦

「地域医療のこれからに市はどう向き合うのか」
「市民の暮らしよい生活のためのデジタル技術の活用と行財政改革について」
「小規模特認校の教育的価値と幼児教育の今後について」
「ラ・フォーレ吹屋の再開に向けた整備は今の方針で本当にいいのか」



小黒ゆかり

「商業施設での期日前投票所の設置について」
「地域における役職の在り方について」



前野洋行

「岡山県ごみ処理広域化計画について」
「高梁市斎場について」
「財産活用について」
「学校統廃合に伴う跡地活用について」
「観光振興について」
「山田方谷150年祭記念事業について」



宮田好夫

「休校(園)・廃校(園)になった校舎(園舎)の管理について」
「高梁市内の高等学校について」
「行財政改革について」

6/16 (月)

藤岡善行

「市民の暮らし、福祉、日々の生活の厳しさに対する認識について」
「水道料金について」
「介護報酬等の見直しについての本市での対応について」
「政府に対しての要請について」
「年金生活者の支援について」
「大阪・関西万博を修学旅行の行き先としていることについて」
「農業の振興について」
「鳥獣被害対策について」



倉野嗣雄

「行財政改革について」
「地域振興基金について」
「森林環境譲与税について」
「市道管理について」



川上雅美

「物価高騰について」
「廃校活用について」
「夫婦岩について」
「日本遺産について」



松岡隆雄

「県立高校の再編整備について」
「市内の中小企業に対する市の支援について」
「ごみの回収について」



平松久幸

「特別養護老人ホーム鶴寿荘について」
「ラ・フォーレ吹屋について」
「高梁国際ホテルについて」
「財産活用課について」
「重点課題への取組について」



市は国際ホテルをどう考えているのか



高梁国際ホテルについて

小林 高梁国際ホテルが新経営陣になったまでのいきさつは。

産業経済部長 平成12年に経営危機に陥ったホテルに関して、市は都市の基盤施設であり、交流人口と地域経済活性化など公共性を持った施設として存続の道を選択した。具体的には、市が建物を買収して新経営陣に貸与する公設民営方式に決定した。再スタートにあたっては、市、議会、商工会議所、各種団体、存続を求めた市民の意見を尊重し、旧経営者の累積赤字解消のため5年間の賃貸料を免除し、その後は税引き前当期純利益の



▲動画視聴はこちらから

小林 重樹 議員

30%を賃料とする覚書を締結している。さらに、運転資金の担保として市が最大1億5000万円を限度とする損失補償を行うなど支援策を講じ、現在に至っている。

小林 高梁国際ホテルに対して市はどのようなビジョンを描いているのか。

市長 厳しい本市の財政状況及び社会情勢の変化を踏まえ、市民に開かれたホテルとして存続するため、あらゆる選択肢を検討し、最も効率的な運営方法を決定したいと考えている。

財産活用について 市長には英断を望む



学童保育について

森 学童保育の保護者負担金を日割りでできないか。

健康福祉部長 本市の負担金は他自治体と比べても安価に設定している。また多子世帯の減免も行っている。現時点では日割りは考えていない。

森 民間委託となった6つの学童保育は順調に運営できているか。

健康福祉部長 順調である。問題発生の際は市が早期に介入し、解決に努めている。

森 民間委託が支援員の処遇改善と学童保育の充実につながらなければならぬ。より一層の努力を要望する。



公有財産の活用について

森 市有財産の利活用に係るホームページ（HP）が非常に堅苦しく感じるがどうか。

企画財政部長 見やすいHPや広報紙での周知等、積極的なPR活動に努めたいと考えている。



にぎわいの創出について

森 サバイバルゲームができる場所や施設を考えてみてはどうか。

企画財政部長 近年、若者に一定の人氣があるのは認識している。地域の活性化につながる新たな活用方法だと思いが、市の直営は現実的ではない。民間事業者からの提案があれば慎重に精査して対応を検討したいと考えている。



▲動画視聴はこちらから

森 和之 議員

構想から15年、やっと動くのか？ 地域活動支援センターI型!!



基幹相談支援センター、地域活動支援センターI型の設置について

金尾 基幹相談支援センターの現状は。

健康福祉部長 なかなか体制が整わなかったが、基幹相談支援センターをこの4月から開所した。市民へ周知していかなければならないと考えている。

金尾 2010～2019年度の「新総合計画」には地域活動支援センターI型の設置が盛り込まれている。構想から15年、全く、1mmも動いていない。2020～2029年度「総合計画」によれば、令和7年度には設置予定となっている。年度内開設は可能なのか。



▲動画視聴はこちらから

金尾 恭士 議員

健康福祉部長 今年度設置は難しいが、障害者のニーズを把握し効果的な事業を行っている。

金尾 声なき声をしっかりと聴き、少しでも前に進めていただきたい。



道路の維持管理について

金尾 安心して市民が地域の道路の草刈り、維持に取り組むために、市が一括して傷害保険をかけ、万一事故があった場合は対応することはできないか。

土木部長 各町内会の手間の削減、安心につながるため、他市町村の様子も勘案し、研究していきたい。

金尾 地域支援検討会議の中でも検討していただきたい。

救急は？学校は？観光は？ いま高梁市に本当に必要なこと



救急車を呼ぶかどうかの判断を24時間電話で医師や看護師に相談できる体制を高梁市に

長田 岡山県下でも、ほとんどの市町村が、導入済みまたは導入予定だが、高梁市での導入の可能性は。

健康福祉部長 市単独実施は厳しい。高梁川流域連携中枢都市圏で導入ができないか検討をしていく。



小規模特認校の教育的価値と幼児教育の今後について

長田 小規模特認校の市としての評価は。

教育長 大規模校で不安な家庭の子どもの受け皿としての役割や、地域が一体となり、豊かな人



▲動画視聴はこちらから

長田 伸彦 議員

間性を育てていると評価している。

長田 閉園基準における、入園予定の見込みは柔軟な解釈が可能か。

教育長 協議をしっかりと、その中で弾力的に運用している。



ラ・フォーレ吹屋、過去と同じ轍を踏まないのか

長田 これまでの運営検証は不十分。さらに市税を投入し続け、競争をする体力が本市にあるのか。

市長 体力はない。選択と集中が必要。それに見合う投資や市民負担は考慮する。観光でどうやって勝っていくのか、議会、市民の皆さんと考えていかなければならない。



基幹相談支援センター … 身体障害者福祉法・知的障害者福祉法に基づき、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。
地域活動支援センターI型 … 精神保健福祉士等の専門職員を配置し、医療・福祉及び地域の社会基盤との連携強化等を図るための事業を実施する機関。

次の世代も地域に関わることを できるような仕組みを

商業施設での
期日前投票所設置について

小黒 現在一つの大規模商業施設でのみ検討・準備中とのことだが、何故一カ所のみに限られているのか。

市民生活部長 これまでの市内の大学での実施に替えて、試験的に行うものであり、また周辺に期日前投票所がないといった理由で落合町阿部の施設に御協力をお願いして取り組むものである。

小黒 将来的にはもう一つの大規模商業施設においても同様の取り組みを期待する。

地域における役職の
在り方について

小黒 地域では愛育委員のほか

小黒 ゆかり 議員



▲動画視聴はこちらから

にも町内会長や栄養委員などの様々な役職があるが人材が不足している。この課題について今後見直しの予定があるのか。

市民生活部長 令和7年度から多様な観点から解決策を検討する高梁市地域支援検討会議を設置したところである。

小黒 吉備中央町では、愛育委員と栄養委員を統合して健康づくり委員としている。地域委員制度の見直しは考えられないか。

市長 他市町の先進事例を参考にし、地域の声や地域支援検討会議での意見をしっかりと聴きながら見直し等を検討していきたい。

備北圏域唯一の定時制高校を 守るべきではないか

宇治高校・松山高校の
展望について

宮田 市は宇治高校や松山高校の将来をどのように考えているのか。

教育長 両校とも少人数だが、特色ある教育活動を通じて自立に向けた力をつけ、生徒を社会に送り出している。引き続き両校の特色ある教育活動の維持充実に努め今後も存続させたいと考えている。

県立高校の
支援体制について

宮田 県立高校には、どのような支援を行っているのか。
市長 各学校の教育活動の理解の促進とさらなる魅力化、魅力

宮田 好夫 議員



▲動画視聴はこちらから

発信の強化の支援を行っている。高校の存続は、高梁市の将来を左右する重要な課題であり、引き続き市を挙げての支援体制を継続していく。

各高等学校の
ホームページへ



市立松山高等学校



市立宇治高等学校



県立高梁高等学校



県立高梁城南高等学校



私立方谷学舎高等学校

今後とも注視!!ごみ処理問題

ごみ処理施設について

前野 岡山県は、県内市町村を広域ブロック化した施設整備を求めている。現在の高梁クリーンセンターは平成30年7月豪雨災害の浸水被害により焼却炉の災害修繕は行っているが、本体の耐用年数から考えると、あと数年で更新時期を迎えると認識している。現状と今後の整備方針についてどのように考えているのか。

市民生活部長 岡山県が示す高梁ブロックは高梁市、吉備中央町、新見市、真庭市、新庄村の枠組みとなっているが、令和6年度の高梁ブロックごみ処理広域化対策協議会において、高梁市と新見市、吉備中央町の2市

前野 洋行 議員



▲動画視聴はこちらから

1町の枠組みによる広域化の可能性について検討開始を承認されている。高梁クリーンセンターについて、河川改修に伴う移転も検討されていたが、現在地での長寿命化整備による延命化措置に取り組みながら、令和7年度中に2市1町の枠組みの中で、焼却施設の共同設置、もしくは単独設置、または外部搬出等の手法について検討協議することとしている。

前野 ごみ処理に係る施設整備については、市民生活に直結する事案であり、今後発生するであろうごみ処理の有料化や最終処分場の問題と合わせて、情報共有を行いながら検討していく課題と認識しているので、今後の情報提供等についてより詳しくお願いしたい。

市民の暮らしが一番

生活が苦しい市民について

藤岡 物価高騰の下で市民の暮らし、特に高齢者福祉、日々の生活の厳しさについて市長の認識を問う。

市長 制度の狭間に残される方がいないよう、今度ともきめ細やかな対応に努めていく。

水道料金について

藤岡 高齢化が進み単身世帯、少人数世帯が増加している中で実態に合わず、算定に不公平が生じてきている。また、入院や施設入所などで空き家になっているが、水道がつかないままに居る住宅への対応はどうか。

土木部長 水道料金は通常利用

藤岡 善行 議員



▲動画視聴はこちらから

される基本水量を10トンと定算定しており、財源が確保できれば利用者の負担軽減に取り組んでいく考えはある。

農業振興について

藤岡 農業は本市の基幹産業という基本位置付けは変わらないか。

副市長 本市の基幹産業として認識している。

藤岡 農業経営者の実態とその状況について問う。

産業経済部長 数字を見ると減少している。物価の上昇や高齢化による労働力、農業以外に主力が移った等、こういった部分で減少と推測している。

草刈りの報奨金は見直すべき

倉野 嗣雄 議員



▲動画視聴はこちらから

行財政改革について

倉野 公共施設配置計画は現在どのように進んでいるのか。

企画財政部長 市では「公共施設等総合管理計画」を策定し、今後40年間で公共施設の延べ床面積を4割削減することを目指している。

この目標を具体化するために、令和6年3月に「公共施設再配置方針」を策定した。

この方針では、121の公共施設を対象に、老朽化の状況や利用実態などを総合的に評価し、更新・統廃合・長寿命化などの方向性を示している。

現在は、各担当課において、施設の利用者や地元住民、関係団体の方々との協議を進めているところである。

職員定数管理について

倉野 本市の職員の定数を削減するべきではないか。

総務部長 令和6年度から高梁市定員管理計画に基づき、職員削減に取り組んでいる。本市の状況と類似している20団体と比較して一般行政職ベースで17人を5年間で削減する目標を掲げている。

市道管理について

倉野 市内の各町内会で行っている草刈りや側溝のごみ等の撤去の報奨金が一回目と二回目で金額が違うのはなぜか、見直すことはできないか。

土木部長 町内活動として続けていただけるように、今後単価についても予算の範囲内で考えていきたい。

物価高騰 市の迅速な対応を問う

川上 雅美 議員



▲動画視聴はこちらから

物価高騰について

川上 物価高騰対策として、市の支援について問う。

企画財政部長 物価高騰による地域経済などへの影響は認識しているが、現在、市単独で全市政的な支援を行うのは難しい状況である。ただし、国からの電気・ガス代補助や交付金があり、今後も国の補正予算の動きに注目していく。市としても、地域の実情に合った支援策をしっかりと検討していく。

川上 市民に寄り添った早急な対応を強く求める。

夫婦岩について

川上 夫婦岩周辺やアクセス道

路沿いの案内看板の設置について問う。

産業経済部長 初めて訪れる人には分かりにくい。そのため、夫婦岩へのアクセスは幅広い道路（かぐら街道など）を活用する必要がある。ただし、案内看板の設置には時間や費用がかかるため、QRコードやICTを使った案内方法も検討していく。今後、地元の方々の意見も伺いながら、分かりやすく便利な案内方法を考えていく。

川上 安全で分かりやすいルート案内は、訪れる人にとってとても大切である。地元の声を大切に、ICTの活用なども含めて効果的な整備を進めてほしい。

市民要望には、スピード感のある対応を

松岡 隆雄 議員



▲動画視聴はこちらから

産官学の連携について

松岡 高校生が授業等で市内の企業をバスで巡る際、バス代等の支援を行うことはできないか。

産業経済部長 市内就職の促進に資する内容であれば、検討したいと考えている。

松岡 県立高校における商品開発などの研究活動に対し、補助金や負担金制度の導入を考えたらないか。

教育長 県教育活動への直接支援は難しいが、必要な支援情報提供や関係機関・団体の紹介などの間接的支援は可能。

しみの回収について

松岡 令和7年度が見直し年度とのこと。今後のスケジュールはど

うか。

市民生活部長 令和7年度に実態調査を行い、令和8年度に事業所との調整、市民への周知、令和9年度から新体制での運用を予定。

松岡 地域局単位ではなく、市全体でコースを再編することで、効率的なごみ回収が可能となる。スピード感のある検討・見直しをしていただきたい。

松岡 平日にごみを持ち込めない人のためにも、クリーンセンターでの休日の粗大ごみの回収をすべきではないか。

市民生活部長 受入れには安全確保のための人員体制が必要。物価高騰によるコスト増の懸念もあり、総合的に判断していく。

高梁国際ホテルの契約はいつまで延長するのか

平松 久幸 議員



▲動画視聴はこちらから

高梁国際ホテル 賃貸借契約延長について

平松 コロナ融資金5千万円の借り入れ時に、市には協議がなかったのか。

産業経済部長 損失補償に係る契約書には融資を行うにあたり、あらかじめ市の意見を徴するとあるが、市は事前聴取はなかったと認識している。

平松 高梁市と国際ホテルで見の相違がみられる。今後はどうか。

産業経済部長 専門家を含め協議を進めて行きたい。

平松 今後、家賃はどこまで免除するつもりなのか。

産業経済部長 契約上では賃貸の開始の平成14年2月から5年間は免除し、それ以降は賃貸借

料3千万円とした。その後は3年ごとに協議をして変更し、覚書により平成19年2月から前年決算額の税引き前当期純利益の30%に規定している。

平松 ここ数年は賃貸借料0円が続いており、経営に改善が見られない。前回令和4年の契約延長と今回の延長では何が違うのか。

産業経済部長 今回の延長は、市民・観光客及び地域経済への影響等が理由である。

平松 改善が無ければ、契約延長はない。市長の見解を求む。

市長 高梁国際ホテルは観光市民の活動や機能において重要な施設である。市の財政状況等を考慮して今後の在り方を考えていく。